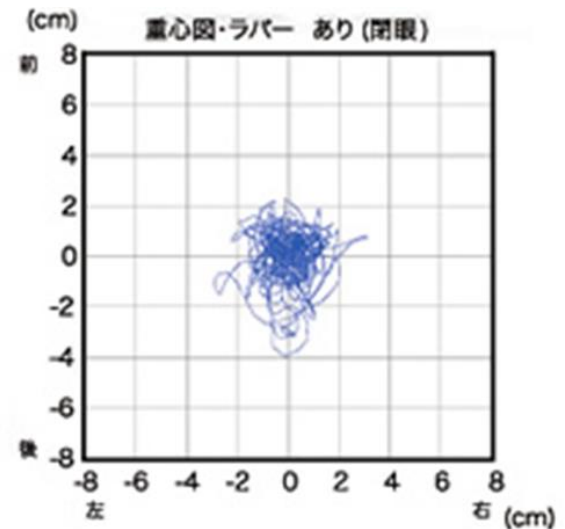


重心動揺計 グラビコーダ

立つこと、それは人類が長い年月をかけて獲得した貴重な財産、そしてその財産には、立つための多くの戦略が含まれています。

人が獲得した立つための戦略、これを解き明かす鍵の一つが重心動揺計です。



検査方法はカンタン

- ①検出台にのります。
- ②目を開けて60秒(または30秒)そのままの姿勢でお立ちください。
- ③次にそのまま軽く目を閉じて60秒(または30秒)そのままの姿勢で お立ちください。
- ④検査終了です。
- ⑤すぐに結果がわかります。

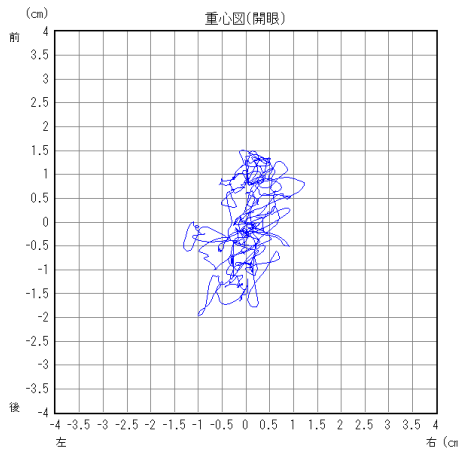
※体に器具をつけたり、特別に薬を飲む必要はありません。
※検査開始前に被検者の年齢と性別を入力してください。

診断への利用
治療の効果判定
経過観察



得られたパラメータから、
バランスに関わる機能障害や
機能低下部位を推定

- ① 速度(単位時間の長さ)
- ② 広がり(面積)
- ③ 方向性(速度ベクトル)
- ④ 周波数(パワー)



重心図(重心の移動軌跡)から
パラメータを抽出

重心計のプレート上に開眼で1分間、閉眼で1分間立つだけの簡単な検査です。以下のレポートが出力されます。

重心図
(開眼時と
閉眼時)

動揺中心位置
(開眼時と
閉眼時)

グラビチャート
(開眼時と
閉眼時)

面積・速度・
密度・位置の
数値データが、
健常範囲と共
に出力されま
す

